

千葉大学サマースクール 計算機と作曲

参加者募集

以下の要領で、今年度の千葉大学サマースクール「計算機と作曲」を開催します。奮って参加下さい。

日程： 7月21(土) 22(日) 23(月)

各日とも、10:30 - 17:00

会場：千葉大学西千葉キャンパス内、理学部2号館105教室(サイエンス・プロムナード隣)

対象：高校生、(引率の高校の先生の参加も歓迎します、毎年数名の先生の参加あり)

学内講師：

渚 勝 (世話人、千葉大学、大学院理学研究科教授)

辻 尚史 (千葉大学、大学院理学研究科教授)

ゲスト講師：

照屋 林賢 (<http://www.rinken.gr.jp/entertainment/rinkenband/profile.html>
をご参照ください)

太田 高正 (東芝情報システム)

[スクールのあらまし]

このサマースクールは、高校生を対象に、千葉大学理学部数学・情報数理学科が関わる現代数学の話題や情報科学の話題の楽しさを伝えることを目標に毎年、開催しています。

今年のテーマは“計算機(情報科学)”と“作曲(曲作り)”の関わりです。

今年は情報科学に視点を置きました。数理的な考え方、ものの捉え方は無味乾燥した印象を与えるようですが、とても刺激的なものです。最近では、一つの事柄を説明すると、「それは何の役に立つの?」「何が面白いの?」というような問いが先行して来ます。今では、インターネットの無い暮らし(社会)というのは考えるのが困難な程になりましたが、もともとは「それは何の役に立つの?」「何が面白いの?」ではなく、確かにものを伝えること、それを理論的に議論を詰めていきたいところから出発しています。この規模が大きくなって付加価値が生じ、現在のように必須の道具へと変わってきました。

スタートは、地味でも大きく広がったインターネットの世界は、もちろん暮らしの仕方にも、個人の情報の発信の仕方にも、いままでとは違う大きな可能性や考えるべきことを産みだしています。

情報科学の話題もいまいろいろな方向に関係するのですが、あまり広く構えと何が何だかわからないことになる可能性があります。また定まった答えがあるようなものでもありません。今回は、音楽に的を絞って、まとまった話というよりいろいろ「愉しんでみよう、考えてみよう」というコンセプトで話を進めることにしました。

講師の先生として、沖縄を拠点として沖縄の音楽(文化)を発信し続けられている照屋りんけんさん、そして企業にあって、画像に現れる波の現象を調べられている太田高正さんをお願いしています。太田さんは音の波にも興味をお持ちでピアノの調律の話など、お二人の講師からさまざまな角度からの話が聞けるものと思います。数学的な話(数学・情報数理学科)としては音に関連して三角関数(\sin, \cos)など関係する題材についてリラックスした形で説明を加えていきたいと予定しています。

スクールの予定：主要な講演を以下のように予定しております。その他の時間は、千葉大学のスタッフが参加者と話をしながら進めていきたいと考えています。

7月21日(土)

午前 照屋林賢先生の講義 (50分×2)

午後 太田高正先生の講義 (50分)

7月22日(日)

午前 照屋林賢先生の講義 (50分×2)

午後 太田高正先生の講義 (50分)

7月23日(月)

午前 太田高正先生の講義 (50分×2)

申し込み方法：下記へ氏名、住所、在学高校、学年、mailまたはfaxがあればそのアドレスまたは番号。さらに、申し込みの動機または理由を簡単に書いた文章を添付してください。(人数が多くなった場合の選考の参考資料にします)。締め切り：延長しました。7月20日の午後7時までにmailまたは電話でお知らせ下さい。

問い合わせおよび連絡先：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学理学部 数学・情報数理学科 「サマースクール」係

FAX: 043-290-2733, TEL: 043-290-2727,

E-mail: summer-school@math.s.chiba-u.ac.jp